

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年	
410046	X-33-B-1-410046	2	前期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科	×	×	×	
授業科目				担当教員	【3年次生以上】国際学部国際文化学科	×	×	×
情報処理演習P1①/C1①				宇田 隆幸	【1-3年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×
					【1-3年次生】経営情報学部情報システム学科	専門	選択必修	1年
					【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
					【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×
<b>授業目的</b>								
この授業は、経営情報学部のディプロマポリシーである『情報や情報システムの利活用方法を修得し、仕事や生活に活用できること』を実現するための授業の一環です。 コンピュータを使用して、情報処理の問題を解決するために必要なプログラミング技術の基本を、C言語を使って学習します。 初めてC言語を学ぶ学生を対象とし、データ型、入出力処理、演算、制御構造、配列といったプログラミングの基本を学習します。								
<b>各回の授業内容</b>								
<b>第1回</b> 【授】 C言語によるプログラミングの基礎及びプログラミング環境 【前・後】 予習復習に4時間：教科書等による予習/演習課題などの復習 <b>第2回</b> 【授】 入出力 【前・後】 予習復習に4時間：教科書等による予習/演習課題などの復習 <b>第3回</b> 【授】 入出力、演算、データ型 【前・後】 予習復習に4時間：教科書等による予習/演習課題などの復習 <b>第4回</b> 【授】 入出力、演算、データ型のまとめ 【前・後】 予習復習に4時間：教科書等による予習/演習課題などの復習 <b>第5回</b> 【授】 分岐 (if) 基礎 【前・後】 予習復習に4時間：教科書等による予習/演習課題などの復習 <b>第6回</b> 【授】 分岐 (if) 応用1 【前・後】 予習復習に4時間：教科書等による予習/演習課題などの復習 <b>第7回</b> 【授】 分岐 (if) 応用2 【前・後】 予習復習に4時間：教科書等による予習/演習課題などの復習 <b>第8回</b> 【授】 くり返し (while) 基礎 【前・後】 予習復習に4時間：教科書等による予習/演習課題などの復習				<b>第9回</b> 【授】 くり返し (while) 応用 【前・後】 予習復習に4時間：教科書等による予習/演習課題などの復習 <b>第10回</b> 【授】 くり返し (for) 基礎 【前・後】 予習復習に4時間：教科書等による予習/演習課題などの復習 <b>第11回</b> 【授】 くり返し (for) 応用1 【前・後】 予習復習に4時間：教科書等による予習/演習課題などの復習 <b>第12回</b> 【授】 くり返し (for) 応用2 【前・後】 予習復習に4時間：教科書等による予習/演習課題などの復習 <b>第13回</b> 【授】 配列基礎 【前・後】 予習復習に4時間：教科書等による予習/演習課題などの復習 <b>第14回</b> 【授】 配列応用 【前・後】 予習復習に4時間：教科書等による予習/演習課題などの復習 <b>第15回</b> 【授】 まとめ、プログラミング課題によるテスト 【前・後】 予習復習に4時間：教科書等による予習/演習課題などの復習 <b>第16回</b>				
<b>成績評価方法</b>								
各回演習と小テストの標準解（プログラム例）を示し、プログラミング課題の平均点を示してフィードバックします。								
<b>教科書・参考書</b>								
<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書「新版 明解C言語 入門編」 柴田望洋 ソフトバンククリエイティブ</li> <li>参考文献はその都度紹介します。</li> </ul>								
<b>受講に当たっての留意事項</b>								
<ul style="list-style-type: none"> <li>情報センター利用規則を守ってください。</li> <li>受講者の理解度により、内容を調整することがあります。</li> </ul>								
実務経験のある 教員による授業 科目有無	実務経験と授業科目との関連性						アクティブラーニング（ディスカッション、グループワーク、発表 等）の実施	
×							○	
<b>学習到達目標</b>								
<ul style="list-style-type: none"> <li>C言語によるプログラミングに関する基本を理解し、簡単な問題の解析を行うことができること。（演習10%・小テスト10%・テスト15%）</li> <li>簡単なプログラム作成及びデバッグができるようになること。（演習40%・小テスト10%・テスト15%）</li> </ul>								
JABEE								
関連する学習・教育到達目標：C、D								

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年	
410046	X-33-B-1-410046	2	前期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科	×	×	×	
授業科目				担当教員	【3年次生以上】国際学部国際文化学科	×	×	×
情報処理演習P1②/C1②				石川 洋	【1-3年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×
					【1-3年次生】経営情報学部情報システム学科	専門	選択必修	1年
					【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
					【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×
<b>授業目的</b>								
この授業は、経営情報学部のディプロマポリシーである『情報や情報システムの利活用方法を修得し、仕事や生活に活用できること』を実現するための授業の一環です。 コンピュータを使用して、情報処理の問題を解決するために必要なプログラミング技術の基本を、C言語を使って学習します。 初めてC言語を学ぶ学生を対象とし、データ型、入出力処理、演算、制御構造、配列といったプログラミングの基本を学習します。								
<b>各回の授業内容</b>								
<b>第1回</b> 【授】 C言語によるプログラミングの基礎及びプログラミング環境 【前・後】 予習復習に4時間：教科書等による予習/演習課題などの復習 <b>第2回</b> 【授】 入出力 【前・後】 予習復習に4時間：教科書等による予習/演習課題などの復習 <b>第3回</b> 【授】 入出力、演算、データ型 【前・後】 予習復習に4時間：教科書等による予習/演習課題などの復習 <b>第4回</b> 【授】 入出力、演算、データ型のまとめ 【前・後】 予習復習に4時間：教科書等による予習/演習課題などの復習 <b>第5回</b> 【授】 分岐 (if) 基礎 【前・後】 予習復習に4時間：教科書等による予習/演習課題などの復習 <b>第6回</b> 【授】 分岐 (if) 応用1 【前・後】 予習復習に4時間：教科書等による予習/演習課題などの復習 <b>第7回</b> 【授】 分岐 (if) 応用2 【前・後】 予習復習に4時間：教科書等による予習/演習課題などの復習 <b>第8回</b> 【授】 くり返し (while) 基礎 【前・後】 予習復習に4時間：教科書等による予習/演習課題などの復習				<b>第9回</b> 【授】 くり返し (while) 応用 【前・後】 予習復習に4時間：教科書等による予習/演習課題などの復習 <b>第10回</b> 【授】 くり返し (for) 基礎 【前・後】 予習復習に4時間：教科書等による予習/演習課題などの復習 <b>第11回</b> 【授】 くり返し (for) 応用1 【前・後】 予習復習に4時間：教科書等による予習/演習課題などの復習 <b>第12回</b> 【授】 くり返し (for) 応用2 【前・後】 予習復習に4時間：教科書等による予習/演習課題などの復習 <b>第13回</b> 【授】 配列基礎 【前・後】 予習復習に4時間：教科書等による予習/演習課題などの復習 <b>第14回</b> 【授】 配列応用 【前・後】 予習復習に4時間：教科書等による予習/演習課題などの復習 <b>第15回</b> 【授】 まとめ、プログラミング課題によるテスト 【前・後】 予習復習に4時間：教科書等による予習/演習課題などの復習 <b>第16回</b>				
<b>成績評価方法</b>								
各回演習と小テストの標準解（プログラム例）を示し、プログラミング課題の平均点を示してフィードバックします。								
<b>教科書・参考書</b>								
・教科書「新版 明解C言語 入門編」柴田望洋 ソフトバンククリエイティブ ・参考文献はその都度紹介します。								
<b>受講に当たっての留意事項</b>								
・情報センター利用規則を守ってください。 ・受講者の理解度により、内容を調整することがあります。								
実務経験のある 教員による授業 科目有無	実務経験と授業科目との関連性						アクティブラーニング（ディスカッション、グループワーク、発表 等）の実施	
×							○	
<b>学習到達目標</b>								
・C言語によるプログラミングに関する基本を理解し、簡単な問題の解析を行うことができること。 (演習10%・小テスト10%・テスト15%) ・簡単なプログラム作成及びデバッグができるようになること。(演習40%・小テスト10%・テスト15%)								
JABEE								
関連する学習・教育到達目標：C、D								

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
410046	X-33-B-1-410046	2	前期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科	×	×	×
授業科目				【3年次生以上】国際学部国際文化学科	×	×	×
担当教員				【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×
情報処理演習P1③/C1③	三河 賢治			【1-3年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×
				【1-3年次生】経営情報学部情報システム学科	専門	選択必修	1年
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
		【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×		
<b>授業目的</b>							
この授業は、経営情報学部のディプロマポリシーである『情報や情報システムの利活用方法を修得し、仕事や生活に活用できること』を実現するための授業の一環です。 コンピュータを使用して、情報処理の問題を解決するために必要なプログラミング技術の基本を、C言語を使って学習します。 初めてC言語を学ぶ学生を対象とし、データ型、入出力処理、演算、制御構造、配列といったプログラミングの基本を学習します。							
<b>各回の授業内容</b>							
<b>第1回</b> 【授】 C言語によるプログラミングの基礎及びプログラミング環境 【前・後】 予習復習に4時間：教科書等による予習/演習課題などの復習 <b>第2回</b> 【授】 入出力 【前・後】 予習復習に4時間：教科書等による予習/演習課題などの復習 <b>第3回</b> 【授】 入出力、演算、データ型 【前・後】 予習復習に4時間：教科書等による予習/演習課題などの復習 <b>第4回</b> 【授】 入出力、演算、データ型のまとめ 【前・後】 予習復習に4時間：教科書等による予習/演習課題などの復習 <b>第5回</b> 【授】 分岐 (if) 基礎 【前・後】 予習復習に4時間：教科書等による予習/演習課題などの復習 <b>第6回</b> 【授】 分岐 (if) 応用1 【前・後】 予習復習に4時間：教科書等による予習/演習課題などの復習 <b>第7回</b> 【授】 分岐 (if) 応用2 【前・後】 予習復習に4時間：教科書等による予習/演習課題などの復習 <b>第8回</b> 【授】 くり返し (while) 基礎 【前・後】 予習復習に4時間：教科書等による予習/演習課題などの復習				<b>第9回</b> 【授】 くり返し (while) 応用 【前・後】 予習復習に4時間：教科書等による予習/演習課題などの復習 <b>第10回</b> 【授】 くり返し (for) 基礎 【前・後】 予習復習に4時間：教科書等による予習/演習課題などの復習 <b>第11回</b> 【授】 くり返し (for) 応用1 【前・後】 予習復習に4時間：教科書等による予習/演習課題などの復習 <b>第12回</b> 【授】 くり返し (for) 応用2 【前・後】 予習復習に4時間：教科書等による予習/演習課題などの復習 <b>第13回</b> 【授】 配列基礎 【前・後】 予習復習に4時間：教科書等による予習/演習課題などの復習 <b>第14回</b> 【授】 配列応用 【前・後】 予習復習に4時間：教科書等による予習/演習課題などの復習 <b>第15回</b> 【授】 まとめ、プログラミング課題によるテスト 【前・後】 予習復習に4時間：教科書等による予習/演習課題などの復習 <b>第16回</b>			
<b>成績評価方法</b>							
各回演習と小テストの標準解（プログラム例）を示し、プログラミング課題の平均点を示してフィードバックします。							
<b>教科書・参考書</b>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書「新版 明解C言語 入門編」 柴田望洋 ソフトバンククリエイティブ</li> <li>参考文献はその都度紹介します。</li> </ul>							
<b>受講に当たっての留意事項</b>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>情報センター利用規則を守ってください。</li> <li>受講者の理解度により、内容を調整することがあります。</li> </ul>							
実務経験のある 教員による授業 科目有無	実務経験と授業科目との関連性						アクティブラーニング（ディスカッション、グループワーク、発表 等）の実施
×							○
<b>学習到達目標</b>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>C言語によるプログラミングに関する基本を理解し、簡単な問題の解析を行うことができること。（演習10%・小テスト10%・テスト15%）</li> <li>簡単なプログラム作成及びデバッグができるようになること。（演習40%・小テスト10%・テスト15%）</li> </ul>							
<b>JABEE</b>							
関連する学習・教育到達目標：C、D							

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年	
410046	X-33-B-1-410046	2	後期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科	×	×	×	
授業科目				担当教員	【3年次生以上】国際学部国際文化学科	×	×	×
情報処理演習P1④/C1④				石川 洋	【1-3年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×
					【1-3年次生】経営情報学部情報システム学科	専門	選択必修	1年
					【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
					【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×
<b>授業目的</b>								
この授業は、経営情報学部のディプロマポリシーである『情報や情報システムの利活用方法を修得し、仕事や生活に活用できること』を実現するための授業の一環です。 コンピュータを使用して、情報処理の問題を解決するために必要なプログラミング技術の基本を、C言語を使って学習します。 初めてC言語を学ぶ学生を対象とし、データ型、入出力処理、演算、制御構造、配列といったプログラミングの基本を学習します。								
<b>各回の授業内容</b>								
第1回 【授】 C言語によるプログラミングの基礎及びプログラミング環境 【前・後】 予習復習に4時間：教科書等による予習/演習課題などの復習 第2回 【授】 入出力 【前・後】 予習復習に4時間：教科書等による予習/演習課題などの復習 第3回 【授】 入出力、演算、データ型 【前・後】 予習復習に4時間：教科書等による予習/演習課題などの復習 第4回 【授】 入出力、演算、データ型のまとめ 【前・後】 予習復習に4時間：教科書等による予習/演習課題などの復習 第5回 【授】 分岐 (if) 基礎 【前・後】 予習復習に4時間：教科書等による予習/演習課題などの復習 第6回 【授】 分岐 (if) 応用1 【前・後】 予習復習に4時間：教科書等による予習/演習課題などの復習 第7回 【授】 分岐 (if) 応用2 【前・後】 予習復習に4時間：教科書等による予習/演習課題などの復習 第8回 【授】 くり返し (while) 基礎 【前・後】 予習復習に4時間：教科書等による予習/演習課題などの復習				第9回 【授】 くり返し (while) 応用 【前・後】 予習復習に4時間：教科書等による予習/演習課題などの復習 第10回 【授】 くり返し (for) 基礎 【前・後】 予習復習に4時間：教科書等による予習/演習課題などの復習 第11回 【授】 くり返し (for) 応用1 【前・後】 予習復習に4時間：教科書等による予習/演習課題などの復習 第12回 【授】 くり返し (for) 応用2 【前・後】 予習復習に4時間：教科書等による予習/演習課題などの復習 第13回 【授】 配列基礎 【前・後】 予習復習に4時間：教科書等による予習/演習課題などの復習 第14回 【授】 配列応用 【前・後】 予習復習に4時間：教科書等による予習/演習課題などの復習 第15回 【授】 まとめ、プログラミング課題によるテスト 【前・後】 予習復習に4時間：教科書等による予習/演習課題などの復習 第16回				
<b>成績評価方法</b>								
各回演習と小テストの標準解（プログラム例）を示し、プログラミング課題の平均点を示してフィードバックします。								
<b>教科書・参考書</b>								
・教科書「新版 明解C言語 入門編」柴田望洋 ソフトバンククリエイティブ ・参考文献はその都度紹介します。								
<b>受講に当たっての留意事項</b>								
・情報センター利用規則を守ってください。 ・受講者の理解度により、内容を調整することがあります。								
実務経験のある 教員による授業 科目有無	実務経験と授業科目との関連性						アクティブラーニング（ディスカッション、グループワーク、発表等）の実施	
×							○	
<b>学習到達目標</b>								
・C言語によるプログラミングに関する基本を理解し、簡単な問題の解析を行うことができること。 (演習10%・小テスト10%・テスト15%) ・簡単なプログラム作成及びデバッグができるようになること。(演習40%・小テスト10%・テスト15%)								
<b>JABEE</b>								
関連する学習・教育到達目標：C、D								

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
410046	X-33-B-1-410046	2	後期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科	×	×	×
				【3年次生以上】国際学部国際文化学科	×	×	×
				【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×
				【1-3年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×
				【1-3年次生】経営情報学部情報システム学科	専門	選択必修	1年
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×
<b>授業科目</b>							
情報処理演習P1⑤/C1⑤		担当教員		佐藤 徳子			
<b>授業目的</b>							
この授業は、経営情報学部のディプロマポリシーである『情報や情報システムの利活用方法を修得し、仕事や生活に活用できること』を実現するための授業の一環です。 コンピュータを使用して、情報処理の問題を解決するために必要なプログラミング技術の基本を、C言語を使って学習します。 初めてC言語を学ぶ学生を対象とし、データ型、入出力処理、演算、制御構造、配列といったプログラミングの基本を学習します。							
<b>各回の授業内容</b>							
<b>第1回</b> 【授】 C言語によるプログラミングの基礎及びプログラミング環境 【前・後】 予習復習に4時間：教科書等による予習/演習課題などの復習 <b>第2回</b> 【授】 入出力 【前・後】 予習復習に4時間：教科書等による予習/演習課題などの復習 <b>第3回</b> 【授】 入出力、演算、データ型 【前・後】 予習復習に4時間：教科書等による予習/演習課題などの復習 <b>第4回</b> 【授】 入出力、演算、データ型のまとめ 【前・後】 予習復習に4時間：教科書等による予習/演習課題などの復習 <b>第5回</b> 【授】 分岐 (if) 基礎 【前・後】 予習復習に4時間：教科書等による予習/演習課題などの復習 <b>第6回</b> 【授】 分岐 (if) 応用1 【前・後】 予習復習に4時間：教科書等による予習/演習課題などの復習 <b>第7回</b> 【授】 分岐 (if) 応用2 【前・後】 予習復習に4時間：教科書等による予習/演習課題などの復習 <b>第8回</b> 【授】 くり返し (while) 基礎 【前・後】 予習復習に4時間：教科書等による予習/演習課題などの復習				<b>第9回</b> 【授】 くり返し (while) 応用 【前・後】 予習復習に4時間：教科書等による予習/演習課題などの復習 <b>第10回</b> 【授】 くり返し (for) 基礎 【前・後】 予習復習に4時間：教科書等による予習/演習課題などの復習 <b>第11回</b> 【授】 くり返し (for) 応用1 【前・後】 予習復習に4時間：教科書等による予習/演習課題などの復習 <b>第12回</b> 【授】 くり返し (for) 応用2 【前・後】 予習復習に4時間：教科書等による予習/演習課題などの復習 <b>第13回</b> 【授】 配列基礎 【前・後】 予習復習に4時間：教科書等による予習/演習課題などの復習 <b>第14回</b> 【授】 配列応用 【前・後】 予習復習に4時間：教科書等による予習/演習課題などの復習 <b>第15回</b> 【授】 まとめ、プログラミング課題によるテスト 【前・後】 予習復習に4時間：教科書等による予習/演習課題などの復習 <b>第16回</b>			
<b>成績評価方法</b>							
各回演習と小テストの標準解（プログラム例）を示し、プログラミング課題の平均点を示してフィードバックします。							
<b>教科書・参考書</b>							
・教科書「新版 明解C言語 入門編」柴田望洋 ソフトバンククリエイティブ ・参考文献はその都度紹介します。							
<b>受講に当たっての留意事項</b>							
・情報センター利用規則を守ってください。 ・受講者の理解度により、内容を調整することがあります。							
実務経験のある 教員による授業 科目有無	実務経験と授業科目との関連性						アクティブラーニング（ディスカッション、グループワーク、発表等）の実施
×							○
<b>学習到達目標</b>							
・C言語によるプログラミングに関する基本を理解し、簡単な問題の解析を行うことができること。 (演習10%・小テスト10%・テスト15%) ・簡単なプログラム作成及びデバッグができるようになること。(演習40%・小テスト10%・テスト15%)							
<b>JABEE</b>							
関連する学習・教育到達目標：C、D							

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習